

# 第8回通信指令シンポジウム プログラム

令和8年3月14日(土)・後日オンデマンド視聴

## メイン会場 (416 教室)

※サブ会場で中継あり

11:00 ~ 11:05

開会式

大阪市消防局 警防部司令課 朝井 良一

### シンポジウム 新しい通信指令の情報収集ツール ~可視化される災害情報~

11:05 ~ 12:05

座長：日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 本村 友一

SY-1 Live119 新機能のご紹介 ~救急現場にいる人たちができること~

株式会社ドーン 伊藤 史昭

SY-2 ドライブレコーダー映像を消防活動に活用する新たなシステムの導入

堺市消防局 宮本 圭造

SY-3 具体的な"指示"を補強する SNS 情報の利活用

株式会社 JX 通信社 井戸 健介

SY-4 救急指令 DX における映像共有の設計思想

ENWA 株式会社 山元 泰浩

### パネルディスカッション1 指導的役割の指令員像について

12:55 ~ 13:55

座長： 富士五湖消防本部 萱沼 実

アドバイザー： 横浜市消防局 與口 剛

PD1-1 口頭指導高度化推進ワーキンググループの取り組みと効果

~指導的立場にある通信指令員の役割を考える~

泉州南消防組合泉州南広域消防本部 木村 信広

PD1-2 通信指令課における救急救命士の配置が救急現場活動に与える有用性

石橋地区消防組合消防本部 北村 浩一

PD1-3 “守る力”を強くする：情報指令課の新たなる挑戦  
—「8人勤務4人体制」に込めた狙いとこれから—

枚方寝屋川消防組合消防本部 田中 秀憲

PD1-4 通信指令員の通報対応スタイルを可視化する自己診断ツールの試作

堺市消防局 九埜 智至

## 特別講演

14:05 ～ 14:55

座長：尾張中北消防指令センター センター長 田島 典夫

SL-1 JRC 蘇生ガイドライン 2025 における口頭指導のエビデンス

JA 岐阜厚生連中濃厚生病院 名知 祥

SL-2 口頭指導の先にあるバイスタンダーの心理

日本 AED 財団 長野 庄貴

## 特別講演関連セッション 口頭指導

15:05 ～ 15:45

座長：救急救命東京研修所 田邊 晴山

RSL-1 指標から考察する、堺市版口頭指導の効果について

堺市消防局 古澤 祐一

RSL-2 口頭指導における言葉選び ～心理学で選ぶ最適な一言～

郡山地方広域消防組合 佐藤 蓮治

RSL-3 口頭指導プロトコールと救急活動プロトコールの連携が強化され  
功を奏した事例

稲敷広域消防本部 牛久消防署 上林 亘

RSL-4 所属における通信指令員の指導救命士配置の現状とその対応策についての提言  
～通信指令室からの挑戦～

秦野市・伊勢原市共同消防指令センター 青木 季道

## 一般演題 1

15:50 ～ 16:40

座長：埼玉西部地域消防指令センター 新井しのぶ

### O1-1 山岳救助事案における聴取

松阪地区広域消防組合 消防本部 総合指令課 指令係 川谷 広樹

### O1-2 自殺念慮を呈する通報者に対応した 1 例

長崎市消防局 指令課指令 1 係 尾上洗次郎

### O1-3 Live119 のライブ中継機能を使用した関係機関との連携について

大阪南消防局 警防部 消防指令センター 指令第一課 豊田 健司

### O1-4 システムの高度化に合わせた BPR 実施の重要性について

那覇市消防局 情報指令課 管理係 友寄 皇

### O1-5 119 番通報時におけるトリアージプロトコルの活用

～アンダートリアージを防ぐために～

尾三消防本部 指令課 市江 雅彦

## パネルディスカッション 2 可視化された災害・救急現場

16:40 ～ 17:40

座長： 秋田市消防本部 伊藤 剛

アドバイザー： 相模原市消防局 小久保和良

### PD2-1 LIVE119 によるサイン・オブ・ライフ可視化の有用性

－CPA 早期認識への影響－

埼玉県南西部消防局 指令統括課 指令指揮第 1 係 見目 吉夫

### PD2-2 映像通報システム～今ある機能を最大限活用することで広がる可能性～

大阪市消防局 警防部 司令課 指令情報センター 川田 勇樹

### PD2-3 災害情報の可視化を目指した情報共有システムの構築について

日立市消防本部 警防課 指令担当 渡邊 義典

### PD2-4 最新の ICT 技術による消防の未来に向けた新たな情報伝達ツールの導入について

茨木市消防本部警備課 指令システム担当 荒井 隆行

## 一般演題2

17:45 ~ 18:35

座長：ちば北西部消防指令センター 関子 敏臣

O2-1 通信司令員による事前情報の発出がアドレナリン投与に与える影響

石巻地区広域行政事務組合消防本部 安齋 秀律

O2-2 119番通報無応答に対する認知度向上への取り組み

駿東伊豆消防本部 通信指令課 岩崎 国彦

O2-3 救急業務迅速化と新人救命士に対する就業前教育の取り組み

稲敷広域消防本部 通信指令課 栗原 直希

O2-4 生成AIを活用した次世代消防通信指令システムの開発

横浜市消防局警防部司令課 坂田 桐吾

O2-5 通信指令による映像通報システム運用の実態調査

京都府中・北部地域消防指令センター（京都中部広域消防組合） 片山 貴行

18:35 ~ 18:40

閉会式

## ワークショップ会場 (410 教室)

### ワークショップ

レッドフラッグを活用した通信指令員のスキル向上ワークショップ  
～通信指令員版 救急脳の作り方～

第1回：13:10 ～ 14:10

第2回：15:20 ～ 16:20

対象：通信指令員、救急隊員、救急救命士、指導救命士

所要時間：60分間 定員：30名 \*同内容で2回実施予定

講師：望月 礼子（鹿児島大学 救急・集中治療医学分野 非常勤講師）

インストラクター：救急救命士 数名

内容：レッドフラッグは、総務省消防庁緊急度判定プロトコル Ver.3 で表記されている、指令員がまず聴取すべきキーワードに相当します。講師はこれまでにレッドフラッグ（見逃してはいけない疾患を示唆する症状や所見）を活用した救急救命士向けの臨床推論ワークショップを展開してきました。昨年当シンポジウムで好評だった通信指令員版ワークショップを、さらにバージョンアップして開催します。複数の事例を、通信指令員と伝達を受ける救急救命士、両方の役割を体験しながら、レッドフラッグへの理解を深めるワークショップです。所属部署での教育手法の参考にもなるコースです。

テキスト：

- 1) 望月礼子. 救急隊版エマージェンシー臨床推論 救急脳の作り方. 東京法令出版、2022年
- 2) 望月礼子. 救急隊版エマージェンシー臨床推論 2 もっと救急脳の作り方. 東京法令出版、2024年康史

ワークショップ参加について：

事前申し込み制。初参加の方を優先します。\*当日見学あり。空席があれば参加可能です。